

信頼と感謝とロマン

リクルートガイド

しりべしほうおんかい

社会福祉法人 後志報恩会

法人理念

『一人ひとりが安心して共に生活
～安心と笑顔でつなく』



後志報恩会とは？

私たちは、小樽市や仁木町をはじめとした北海道後志エリアで、児童・成人の「障がい支援」、
「高齢者介護」を中心に行う社会福祉法人です。



昭和45年 銀山学園創立当時

後志報恩会ものがたり

～法人理念が産声を上げた瞬間～

私たちがこの仕事を始めてまもない頃、利用者さんがいつの間にか施設から外に出て行って、地域の方々に迷惑をかけてしまうことがたびたびありました。「毎日一生懸命、利用者さんに接しているのに、なんで出て行ってしまっただろう」私たちは来る日も来る日も考えました。

でも、ついにわかる日がおとすれたのです。出て行ってしまふのは当たり前。だって利用者さんの一番の望みは、地域の中で暮らしたいということだったんですから。「利用者さんのしあわせは地域にこそあるんだ」と、そこで初めて気付かされました。

それ以来、私たちは職員の家庭に利用者さんをまねく「ホームステイ」を始めたり、利用者さんが社会とつながる機会を積極的に増やしていきました。そうすることで、いつの間にか出て行ってしまふ利用者さんはいなくなっていったのです。ふり返ってみれば答えは簡単でした。出て行くことを「なくす」のではなく、出て行くことが「できる」方法を考えれば良かったわけです。

こうして、人々の輪がどんどん広がっていき、私たちが目指す福祉コミュニティ創りが動き出したのでした。



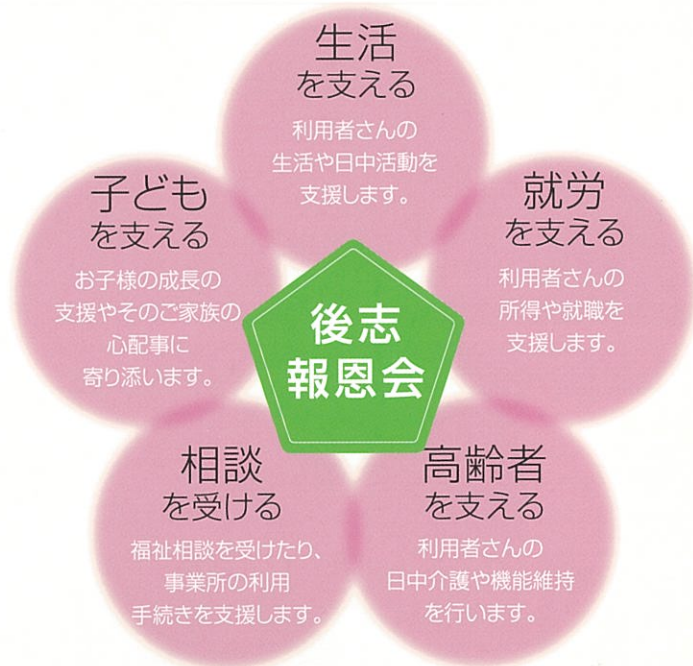
出来る福祉コミュニティの創造』

みんなのしあわせ～



おもな仕事内容

「生活を支える」「就労を支える」「子どもを支える」
「高齢者を支える」「相談を受ける」の5つの業務を
各事業所の役割に合わせて行なっています。



各事業所紹介

目的に合わせて利用者さんを支援する14施設

	生活を支える	就労を支える	相談を受ける	子供の成長を支える	高齢者を支える
小樽地区 事業所	●和光学園 ●にじ	●シェアリング和光 ●ウイリング和光 ●ウエルサポート和光	●HIROBA	●さくら学園	
仁木地区 事業所	●銀山学園 ●ふきのとう ●大江学園 ●コタン	●陽だまり	●にき		●えんれいそう

スタッフの
声

福祉に携わるそれぞれの思い

「仕事の内容」や「働く思い」など、
後志報恩会で働く職員たちのそれぞれの今を紹介します。



先入観や
固定概念に左右されず、
私だからできる支援を
一人ひとりに。



勤務先／大江学園
2014年入社（京都府出身）

にしの みほ
西 美帆



大江学園に入所されているほとんどの利用者さんがこの施設を終の棲家とされる中で、毎日を穏やかに笑顔で過ごすことができるように支援するのが私たちの仕事です。対人援助職のなかでも、利用者さんと密に関わることができるのがこの職種。一人ひとりのことをよく知り、より個別的な支援をできることが対人援助を行う魅力です。特に大江学園は少人数の施設で、みんなとお話しができたり、一人ずつにかけられる支援の時間が多いことが強みだと思います。

もちろん、上手くいかないことや大変なこともたくさん。利用者さんとの信頼関係は簡単には築けないものだし、人の死というものを身近に感じなくてはならない場面もあり「つらい仕事だな」と感じることもあります。ですが、担当の利用者さんから頼られた時、自分の名前を覚えて呼んでもらった時、出来ることが増えた時など、毎日が小さな感動にあふれています。

難しい支援の場面でも、職員同士で知恵を出し合い、フォローし合いながらチームで利用者さんを支援。普段の会話がより良い支援に繋がっていくこともしばしばです。私は今、20代半ば。利用者さんからすると子や孫くらい年齢です。人生の先輩である、利用者さんから学ぶことはとても多く、日々、勉強させてもらっています。その中で、経験の浅い私には何が出来るのか考えた時、自分の持っている感覚を大切にしながら、こんなに楽しい遊びがある、最近はこの物が流行っているなど、新しい発見や新鮮な気持ちを味わっていただきたいと考えて支援をしています。先入観に左右されず、穏やかに過ごしていただきながらも刺激のある毎日を送っていただきたいと考えています。



勤務先／銀山学園
2015年入社（札幌市出身）

ほんほ みつみ
本保 光海

「笑顔のために働きたい」

ここはその思いを叶えられる私にとっての理想の場所。

利用者さんの素直な笑顔や迎え入れてくれるような優しさが、私の原動力になっています。どんな障がいを持っている方でも、一生懸命に気持ちを伝えると必ず思いは届きます。

入社して間もない頃、物を壊してしまったり、衣類を破いてしまったりする利用者さんがいました。でも、職員みんなで一丸となって支援することで、そういった行為はいつのまにかなくなり、今では問題なく過ごせています。その積み重ねが、私も含めて成長に繋がっているのだと実感できました。利用者さんにはそれぞれ個性があります。それぞれの得意とする分野を活かして、楽しく生き生きと暮らしてもらうことが支援の大切な部分。一人ひとりに目を配りながら、仕事に励んでいます。

銀山学園のある仁木町は自然に恵まれ、アウトドアが好きな方にはとても気持ちのよいところです。利用者さんや職員の笑顔と美味しい空気の中、楽しく一緒に働きましょう。少しでも興味があればぜひ一度見学に来てくださいね。

勤務先／和光学園
2013年入社（小樽市出身）

ひらお けんたろう
平尾 健太郎

現場だけでなく、 地域を巻き込んだ福祉を実践していく人材を目指して。

僕は生まれ育った小樽で、人のために働ける仕事は何かを考えた結果、福祉の道にたどり着きました。

今働いている和光学園には、中度から最重度の知的障がいがある利用者さんがいます。日中は、みんなで牛乳パックを再利用して紙を作ったり、幼稚園に配布する折り紙を作ったりとさまざま。夕方には生活棟で利用者さんの暮らす部屋の掃除や洗濯などの生活支援を行なっています。

「福祉」と聞くと、メディアに取り上げられるようなネガティブなイメージもあると思いますが、実際はそんなことはありません。大変な部分も確かにありますが、楽しくやりがいのある場面もとても多い仕事。特に利用者さんやその家族から「ありがとう」と言われた時は、本当に嬉しく思います。

僕は体を動かすことが好きなので、スポーツ活動も楽しみのひとつ。利用者さんと参加したテニール全道大会で優勝した時は喜びもひとしおでした。職場は、福利厚生が充実していて休みもしっかりと取れ、プライベートも充実できる環境。人と関わることが好きならとても魅力的だと思います。



勤務先
グループホーム支援センター にじ
2015年入社（小樽市出身）

まきた かおり
牧田 夏織

今感じていることを忘れずに、 その先を見据えながら利用者さんの暮らしを大切に支援。

この職場を選んだのは、保育士資格取得のために実習生として和光学園で受け入れて頂いたのがきっかけでした。仕事内容は「地域生活支援」を行っており、利用者さんの人生セルフプランを基に、地域で暮らすための仕事・金銭管理・食事・健康管理などのお手伝いをさせていただいています。

地域生活支援は「予定と違った!」ということが日常茶飯事。「電車が止まってバスで帰るよ」「予備費があったから、そのお金で買い物してきたよ」「帰りが遅くなりそうだよ」など、そんな報告を利用者さんから聞くと、社会の一員として地域の中で暮らしていることを実感して嬉しくなります(笑)

私は、ここで仕事するまで障がい者支援をしたことがありませんでしたが、携わったことがなかった人にぜひ経験してほしい仕事だと思っています。利用者さんとの関わりは、学ぶことがとても多く、自分自身の成長にも繋がります。人との出会いを大切に一緒に頑張りましょう。



キャリアアップについて

メンター 制度

新入職員には、1年間専任の先輩職員がつき、心配ごとや相談ごとに対応しています。

研修 制度

新入職員研修をはじめ法人内研修、事業所内研修はもとより、外部研修へも勤務で派遣します。自閉症研修などの課題別法人内研修も継続開催しています。

キャリア 支援

採用後の資格取得を支援するとともに、資格によっては資格祝金の制度があります。

人脈 づくり

外部団体を兼務する職員もおり、人脈づくりに役立っています。

好きな仕事で、確実にステップアップできる。



勤務先/相談支援センター におおの あけみ
2002年入社 (札幌出身) **大野 明美**

勤続年数	勤務内容・資格取得
1年目	●福祉系専門学校卒業後、入所施設にて勤務
7年目	●後志エリアの他法人の職員の方々と研修やスポーツ大会等の企画・運営などを行う委員となる。(5年間)
9年目	●係長職となる
12年目	●社会福祉士の資格取得 ●相談支援事業所へ異動
13年目	●大学の通信教育を始める
14年目	●精神保健福祉士の資格取得 ●研修会のシンポジスト(意見発表者)などの機会を頂く
16年目	●現在

役に立つ資格

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事、保育士、児童指導員、ヘルパー、
その他作業支援に役立つ資格(栄養士、調理師、食品衛生管理者ほか) ※入職時に専門資格や経験は必要ありません。(一部の事業所を除く)



<p><小樽市からのアクセス> ※高速道路利用の場合</p> <p>札幌駅へ(37.8km).....約40分</p> <p>新千歳空港へ(84.7km).....約1時間10分</p>	<p><仁木町からのアクセス> ※高速道路利用の場合</p> <p>札幌駅へ(61.7km).....約1時間15分</p> <p>新千歳空港へ(108.7km).....約1時間40分</p>
<p>小樽JC ⇄ 余市IC(23.4km).....約20分</p>	

しりべしほうおんかい

社会福祉法人 後志報恩会

法人本部事務局

〒047-0156 北海道小樽市桜4丁目6番2号

電話 0134-51-5217 FAX 0134-52-3617

メールアドレス honbu@srbshouon.jp

ホームページ <http://www.srbshouon.jp>

